

# モニタリング結果報告書 (2018年度)

## 1. 施設概要

施設名	スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	<a href="http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php">http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php</a>		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツ会館の進行を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県体育協会		
指定期間	H27.4.1~R2.3.31 (2015年) (2020年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>提案に基づく開館日の拡大や誰もが参加しやすい様々なスポーツ教室の開催等の取組みを行った結果、利用状況の評価がB評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がB評価となったことから、平成30年度の3項目評価はA評価とした。</p> <p>収支がマイナス傾向にあるが、修繕費・光熱水費の増は施設・設備の老朽化の影響が考えられる。適宜措置しながら、その他の経費を見直すことで改善を図りたい。</p> <p>今後も適切な施設の維持管理を行いながら、高い評価を得ている満足度を維持していけるよう努めてもらいたい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づく開館日の拡大(平成30年度342日開館)や誰もが参加しやすい各種スポーツ教室、カルチャー教室の開催を通じて、利用者の拡大を図った。また、維持管理業務についても、体育館、多目的室、会議室の利用者の怪我や事故防止を図るため、適切な指導やサポートを実施した。利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、常に利用者目線に立った施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率87.9%となったため、B評価となった。利用件数では3,309件となり、前年度より254件増であったが、利用者数は41,298人であり前年より665人減であった。今後も引き続きホームページの充実や近隣住民・自治会等へ積極的な広報を行い会議室や多目的室の個人利用の促進に向け、効果的な利用者サービスの向上に努め、利用人数の増加につなげたい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と翌年3月に実施し、上位2段階の回答割合が96.6%となったため、S評価となった。回収率は、利用者に対するアンケート協力の呼び掛けに努めた結果、96.8%と高くなった。</p> <p>◆収支状況 収支比率が91.88%となったため、B評価となった。前指定期間に比べ52千円の指定管理料が縮減となったことに加えて、利用料金収入が前年度比で128千円減となっているため、利用件数の増を図ることで改善したい。また、経費節減には努めたものの人件費、光熱水費、修繕費等が当初予算に比べ増大した影響から、収支差額は1,842千円のマイナスとなった。</p> <p>◆苦情・要望等 アンケート調査等で施設の経年劣化に伴う空調機器の改善等に関する要望など指定管理者に起因しない要望が寄せられた。職員による点検回数を増やしたり、簡易的な修繕や、清掃等適切な対応に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等 職員による日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	
3項目評価	<p>S : 極めて良好</p> <p>A : 良好</p> <p>B : 一部改善が必要</p> <p>C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成30年7月24日	
	平成30年11月14日 平成31年1月16日	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持・管理について	経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた。	
年末年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始	提案どおり年末年始、施設点検日を除いた日を開館した（342日開館）。	
スポーツ教室の開催（自主事業）	硬式卓球 3期89名 ラージ卓球 3期67名 ダンススポーツ 3期50名 幼児体操(2クラス) 3期54名 小学生体操教室 3期49名 幼児体操(夏休み) 1期13名 小学生体操(夏休み) 1期13名 リフレッシュ体操 年4回40名 ヘルシーヨーガ教室 3期49名 ビューティーヨーガ教室 3期36名 ビューティーヨーガ教室(夏期) 1期19名 ナイトヨーガ教室 3期62名 ナイトヨーガ教室(夏期) 1期18名 ジュニアテニス(5クラス) 3期129名 ジュニアテニス(夏休み)(6クラス) 1期51名 親子英語リトミック教室 3期138名 英会話教室 3期43名 救急法講習会 3日26名 健康体力アップ教室 3期50名 ロコモチェック 2回57名	
指導員養成・育成講習会の開催（自主事業）	トレーナー研修会 3日43名 スポーツに関する講演会 1日43名	

外部諸機関との連携	スポーツ教室・研修等は、スポーツドクター・大学教授・県内競技団体・日本体育協会公認スポーツ指導者・トレーナーの協力を得て実施した。また、救急法講習会は、日本赤十字社神奈川県支部より指導者派遣等協力を得て開催した。	
人材育成（職員育成・研修）	利用者サービスの向上に資するため各種研修を実施した。 第1回 平成30年9月13日「かながわシェイクアウト」に参加し、避難経路等の確認を行った。 第2回 平成31年1月22日・2月21日「性的マイノリティに係る県指定管理施設向け研修会」に参加した。 第3回 平成31年2月26日「障がい者雇用のための企業講習会」に参加した。 その他、「ノロウイルス」対策で消毒液の作り方、処理・消毒方法について職員全体で確認した。	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
4. 管理運営等の状況（スポーツ教室等の開催、スポーツ指導員養成・育成講習会の開催及び生涯スポーツ研修セミナーの開催）のとおり	同左

## 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	44,350	41,963	41,298
対前年度比		94.6%	98.4%
目標値	46,000	46,000	47,000
目標達成率	96.4%	91.2%	87.9%

目標値の設定根拠： 過去数年の間の利用者を参考に算定し決定

利用者数の算出方法（対象）： 団体は利用報告書に人数を記載  
個人利用は利用申込書で人数を確認

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間2回 9月と3月に調査	協定で定めた年間2回を9月と翌年3月に実施した。結果として昨年と同程度の回答数を得ているが、引き続き利用者とのコミュニケーションを積極的に図っていききたい。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法 窓口での配架・利用者に直接配布 回収数/配布数 358 / 370 = 96.8%

配布(サンプル)対象 スポーツ会館利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	97	241	11	1	350	空調設備など施設・設備に関する不満
回答率	27.7%	68.9%	3.1%	0.3%		
前年度の回答数	114	245	9	1	369	
前年度回答率	30.9%	66.4%	2.4%	0.3%		
回答率の 対前年度比	89.7%	103.7%	128.9%	105.4%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,363	2,505			20,868	20,868	0	
	決算	18,363	2,577			20,940	21,145	-205	99.03%
前年度	当初予算	18,313	2,535			20,848	20,848	0	
	決算	18,313	2,706			21,019	22,991	-1,972	91.42%
2018年度	当初予算	18,261	2,570			20,831	20,831	0	
	決算	18,261	2,578			20,839	22,681	-1,842	91.88%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
大きな事故等ありませんでした。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。